

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 7号

令和6年5月17日(金)発行

校長 関根 崇史

## 働き方改革、業務改善についてのご理解とご協力をお願いします

学校が忙しすぎることは、日本全体の社会問題となっています。本校でも、ゆとりをもって子供たちと接していけるようにするため、また、職員の心身の健康を守るため、働き方改革、業務改善は早急に対応していかなくてはならない課題であり、校長として果たすべき使命だと考えています。



教員は“子供たちのために”存在する職業です。時間的、精神的なゆとりを生み出すことができれば、より質の高い授業を準備し、実践することができます。子供たちと向き合う時間が増えれば、個々に応じた手厚い指導が可能になり、小さな変化にも気づくことができるようになります。これにより、様々な問題への素早い対応が可能となり、いじめや不登校等の減少や解消にもつながるはずです。そして、教員が心身ともに健康で、明るく生き生きと子供たちと接することが何より重要であり、それ自体が最も効果的な教育活動であると考えています。このようなことから、働き方改革、業務改善は、子供たちのために充実した教育活動を継続していくための必要不可欠な取り組みであるということをご理解ください。

坂東小学校職員の勤務時間は、8時15分から16時45分です。そのうち45分間を休憩時間としているので、1日の勤務時間は7時間45分となります。しかし、8時15分に出勤して勤務を開始し、16時45分で勤務終了して帰宅というわけには、なかなかいきません。また、20分休みや昼休みの時間が、職員の休憩時間に設定されていますが、子供たちへの対応や次の授業準備などのため、十分な休憩を取れないこともしばしばです。教員の時間外勤務を巡っては、文部科学省も働き方改革が必要だとして、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を出しました。また、同省が2022年度に小中学校の教員を対象に行なった調査では、平日1日あたりの勤務時間の平均は、小学校で10時間45分、中学校で11時間1分と長時間勤務をしている教員が多く、上限としている月45時間を超える教員は中学校で77.1%、小学校でも64.5%に上るという結果が出ています。そして、坂東小学校職員の勤務状況も例外ではありません。

これまでも、フォームでの欠席連絡、児童玄関の解錠時間変更（8時15分）、夜間や休日の電話自動応答等々、できることから多忙化解消に向けての取り組みを実施してきました。保護者の皆様には、その都度、温かいご理解とご協力をいただいたことに感謝をしています。

しかしながら、残された課題も多く、まだまだ改善の余地があると考えています。何でもかんでもカットをして時間短縮することが働き方改革、業務改善だと考えている訳ではありません。多忙の要因になっている業務内容を校内で見直して、不要であるものは廃止、やり方を変えることで効率化が図れるものは工夫をして改善していきます。もちろん、もっと時間をかけてでも大切にしていって取り組んでいきたいことについては、これまで同様しっかりと力を注いでいきます。

具体的な取り組み（何をどのように改善するか）については、校内で共通理解を図った上で、学校通信等を通じて発信していきたいと考えています。疑問点やご意見等がございましたら、校長までお問い合わせください。健全な学校運営へのご協力を、ぜひともお願いします。